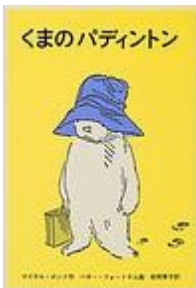


ENTERTAINMENT



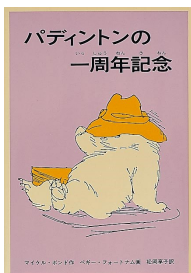
『くまのパディントン』
マイケル・ポンド／作 ベギー・フォートナム／画
松岡 享子／訳
福音館書店 1967年

帽子をかぶった紳士すぎる小さな熊が、ペルーのジャングルの奥地からはるばるイギリスのロンドンへやってきた。家を探し求める彼は、親切なブラウン一家に出会い、「パディントン」と名付けられ、ブラウン家に泊めてもらえることになった。初めての都会暮らしは慣れないことの連続で、毎日がドタバタのトラブル続き。パディントンが見つけた新しい家より素敵なものとは…。

今までの環境から一步踏み出し、慣れない毎日を懸命に生きるパディントンにたくさんの勇気もらえる作品です。パディントンは初めての都会暮らしにも怯えることなく、意欲的に行動します。結果的にトラブルを引き起こすこともありますが、好奇心を持って、マイナスなことも楽しんで生活することで、余計な力を抜いて日々を生きることができるということを教わりました。

ロンドン生活も1年を過ぎた春、ブラウン家でピクニックへ。まだまだたくさん起こる初めての経験に、心躍らせるパディントンの行動に注目です。

『パディントンの一周年記念』
マイケル・ポンド／作 ベギー・フォートナム／画
松岡 享子／訳
福音館書店 1978年



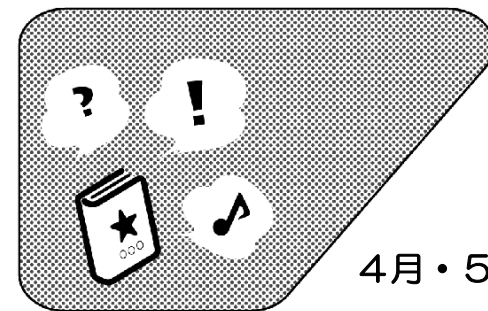
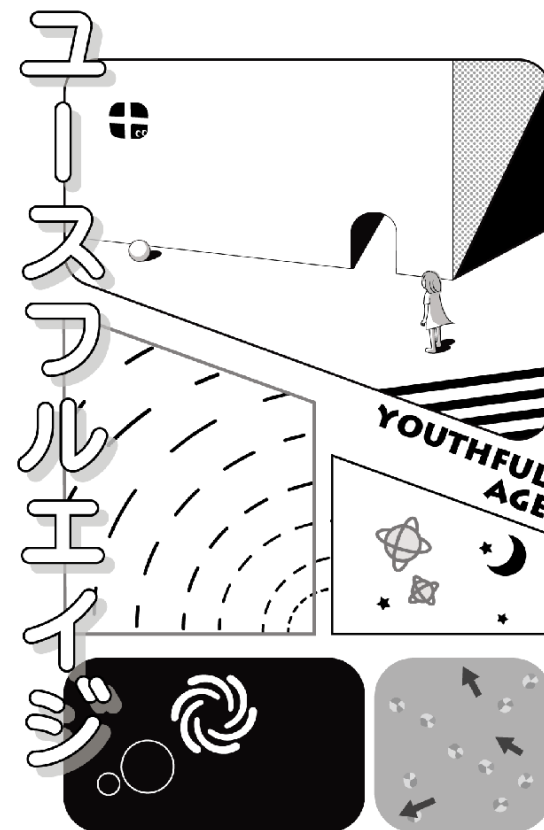
「ユースフルエイジ (Youthful Age)」は YA世代に送る、本・漫画・映画・音楽などのおすすめ情報を掲載した渋谷区立図書館が発行する定期刊行物です。

YA(ワイエー)とは…
Young Adult(ヤングアダルト)の略で、おおむね12歳から18歳までの人たちのことをさします。

ユースフルエイジ
2021年4月・5月号【No.1】

発行／編集 渋谷区立図書館
株式会社図書館流通センター
発行日 2021年4月

渋谷区立中央図書館
電話 3403-2591
住所 渋谷区神宮前1-4-1



4月・5月号
【No.1】

SHIBUYA CITY LIBRARIES

Recommended books

Pick Up!

ゆったり過ごす春

一日まぐるしい日々癒し・安らぎの時間を—

「この本は、君に上を向いて一步踏み出してもらうための本です。」

傷付きやすい心を抱え、生きづらさや自分は一人だと感じている10代のあなたに向けて、精神科医の著者がなぜそう感じるのかという知識と、それを踏まえてどのように行動していけばラクに生きることができるのかを記しています。

春はたくさんの「新しい」を経験する季節です。それは楽しい反面、生活環境や人間関係を変えてしまい、心がモヤモヤして不安を感じやすくなってしまいます。不安を抱え込んでしまいそうになったら、ぜひこの本を読んで、少しずつ行動してみてください。



『10代のための疲れた心がラクになる本』
長沼 睦雄／著
誠文堂新光社 2019年



『中学生で出会っておきたい71の言葉』
覚 和歌子／編
PHPエディターズ・グループ PHP研究所(発売)
2012年

「言葉」による多様な表現で人々に勇気を与えてきた詩人や歌人、さらに偉人やアーティストの言葉を6つのテーマごとに紹介しています。日本だけでなく世界中の作品が取り上げられていて、編者の覚さんによる解説とあなたに向けたメッセージが記されています。心がフツと軽くなる、美しい言葉たちにぜひ出会ってほしいです。



『クマのあたりまえ』
魚住 直子／著 植田 真／絵
ポプラ社 2011年

「生きること」をテーマに、動物たちが主人公の7つの物語が収められています。タイトルの「クマのあたりまえ」は、大きなオスグマが死んでいるのを見た子グマが、死なないものに生まれたかったと思い、森の中で絶対に死なないものを探していくというお話です。人間の私たちが日頃考えている「生きること」に関する不安や悩みを、お話の中の動物たちも同じように感じています。動物たちの言葉や行動から温かな気持ちになり、明日を生きるためのエールをもらえる作品です。



『眠れる美しい生き物』
関口 雄祐／著
エクスナレッジ 2019年

陸・海に生きる生き物たちのあくびをしている瞬間や眠っている瞬間を収めた写真に、眠りに関する様々な情報を加えて紹介しています。生き物たちを近い種類で仲間分けしているので、似ている部分や違いを比べながら読むことができます。厳しい世界で生きている生き物たちの無防備な寝姿に癒される一冊です。

New!

林業は危険で過酷なイメージですが、たくさんやりがいを感じられる仕事です。未来を育てることの楽しさや、多くの時間をかけて取り組むことの大切さが分かる一冊です。

日本全国の森で働く若者たち。大都会・東京の森で新しい林業を切り拓いている会社「東京チエンソーズ」に密着取材し、木を育てる仕事と木を届ける仕事を紹介します。

菅 聖子／文
小峰書店 2020年



『山をつくる』

書籍の体裁や用途を研究し、その書籍の歴史などを説明する書誌学を題材にした青春小説です。本の内容だけでなく、形やデザインなど、本の全てが好きな方におすすめです。

書医(書籍のお医者さん)の家系に生まれたあづきは、若くして亡くなってしまった兄・葵に代わって家業を継ぐことになる。しかし、書籍についての知識がなかったため、ある不思議な力を持った双子の妹・さくらと修行に邁進していく…。

白戸 満喜子／著
芳井 アキ／画
文学通信 2020年



『書医あづきの手控(クロニクル)』

COLUMN

渋谷の癒し空間

春は環境の変化や慣れないことに挑戦する機会が多くなる季節。心や体が疲れた時は、自分の好きなことをしたり、十分な睡眠時間を取るなどして、少しでも疲れを取るようしましょう。緑豊かな自然や落ち着ける空間に足を運ぶことも有効的だと思います。そこで、渋谷区の癒しスポットを紹介しましょう。

○明治神宮御苑・代々木公園

原宿駅に隣接する二つの施設は、広大な敷地に緑豊かな自然が広がっています。明治神宮御苑・代々木公園内を歩くことで、心も体も癒され、健やかに過ごせると思います。

○鍋島松濤公園

大きな湧水池に水車小屋があり、癒されるスポットになっています。流れる水音と共にゆったりとした時間を過ごせます。

是非、暖かな日差しを浴びて、豊かな時間を過ごしてみてください。